

御社橋架替事業に関する主なご質問・ご意見

主なご質問・ご意見	県・市の考え方
(1) 仮橋をバイクが通行しないように対策を検討して欲しい。	仮橋は歩行者・自転車専用です。警察とも連携して、物理的な対策あるいは注意喚起などを検討します。
(2) 仮橋供用中はバス停まで迂回する必要があるが、バス停を移設するのか。	工事の際に、バス停の位置が多少変わる可能性はありますが、基本的には現在の位置のままを予定しています。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。
(3) 仮橋供用中の通学路はどうなるのか。	西多田から御社橋交差点で市道(旧県道)を渡って、①右折して旧県道沿いの歩道を通り、タクシー会社への道路を通るルート、あるいは、②直進して御社橋手前で河川沿い通路を通るルートを検討しています。①は工事車両との輻輳、②は河川沿い通路の安全性が課題であり、工事範囲・時期に応じて、より安全なルートを検討し、学校や教育委員会と協議して必要な安全対策を講じます。
(4) 仮橋の位置で川を渡ったほうが、安全である。仮橋を残してもらえないか。	仮橋は、工事中の仮設であり、新橋供用後に撤去する予定です。
(5) 県道が狭いため、橋梁部分は2車線も必要ない。	交通量や車両の円滑な離合を考慮して、2車線で計画しています。
(6) 現在の通学ルートは、御社橋の下流側を通過して、県道の川沿いを歩いていることから、歩道は橋の下流側がよい。上流側なら多田神社前で上流側から下流側に渡る横断歩道が必要である。	現在の通学ルートやご意見を踏まえ、橋の下流側に歩道を設置するよう関係機関と協議を進めています。
(7) なぜ歩道は上流(片側)だけに設置されるのか。上下流(両側)に振分けできないのか。	通学ルートや通行状況、経済性を考慮して、下流側の片側歩道としています。
(8) 現橋の高欄(柵)の高さが低くて危険である	転落防止柵の設置基準に則り、高さ1.1mの柵を設置する予定です。
(9) 新橋の勾配はきつくなるのか。	新橋の勾配は2.5%で、現橋よりも緩やかになる計画です。 橋の高さが約2m高くなるため、橋に取り付く県道も2.5%の勾配となる計画です。

主なご質問・ご意見	県・市の考え方
(10) 交差点に横断歩道は設置されるのか。	御社橋交差点において、東側に市道（旧県道）を渡る横断歩道、北側に市道を渡る横断歩道、多田神社前において、東側に県道を渡る横断歩道を設置する計画です。
(11) 多田神社前の交差点に信号を設置して欲しい。	地元から信号設置の要望があったことを警察と共有しています。
(12) 県道は拡幅されるのか。	県道の拡幅計画はありませんが、神社前の区間は約 5m の幅員となります。
(13) 工事期間中の御社橋通行止めで、多田神社前県道の交通量が増える恐れがあり、安全対策が必要である。	御社橋の通行止めにより、多田大橋あるいは銀橋に迂回していただく必要があります。工事中の交通状況の変化を注視し、警察とも連携し、対応を検討します。
(14) 橋梁拡幅により県道の交通量が増加し、歩行者の安全性が心配である。	橋梁拡幅後の交通量は予測していませんが、橋梁前後の県道は拡幅しないため、大きく交通量が増加するとは考えていません。警察とも連携して、新橋供用後の交通状況の変化を注視します。なお、県道が狭いことを自動車の運転手に知らせるための看板等の設置を検討します。
(15) 橋梁拡幅により県道の交通量が増加するので、県道の通行規制などを検討して欲しい。	現状の時間限定の通行止めや速度規制の取締りの強化など、警察と連携して検討します。
(16) 西側住宅地から国道 173 号への抜け道として御社橋や県道が利用されているので、歩行者や通学路の安全対策を十分に講じて欲しい。	橋梁架替工事による橋梁部の歩道設置などの安全対策を優先的に取り組みます。御社橋や県道の歩行者の安全対策は、県・市で、警察と連携して、検討します。